

問一（二五点）

【採点のポイント】

- ・ 本文の内容を理解できていること。
- ・ 要点がまとめられていること。
- ・ 文章表現のきまりに基本的に則していること。

【解答例】

「ドネルケバブ様の知識」は、断片的な事実を覚えただけで、役に立たない知識であり、「生きた知識」は、変動するシステムであり、有機的に構築されていくものである。言語知識で言えば、丸暗記した英単語のような、文脈などを理解せずに日本語訳の意味だけを覚えたものは、前者である。一方、新しい単語を既知の単語との関係を考えて学び、既存の語彙のシステムを絶えず編み直していくことで獲得した母語の知識は後者である。

（一九九字）

問二（七五点）

【出題の意図】

思考力や判断力の向上につながる「生きた知識」とはどのようなものか、どのようにすれば獲得できるか、これから高等教育機関で学ぶ学生にとっては重要であり、常に意識すべき問題である。課題文を正しく読み取り、それまでにあまり意識したことがない知識の捉え方や、学び方について、内省し、自らの学習の体験を踏まえつつ、自分の意見を論理的に表現できるかどうかを問うものである。

【採点のポイント】

- ・ 生きた知識について正しく捉えていること。
- ・ 自分の学習を振り返り、適切な例を挙げていること。
- ・ 自分の意見を論理的に述べていること。
- ・ 文章表現のきまりに則していること。
- ・ 段落わけなど文章の構成が明快であること。